

大学

創造表現学部 創造表現学科 創作表現専攻

クリエイティブライティングa

清水 良典 教授

独自のイメージを大切にしながら、
文章のテンプレートを超える表現力を修得。

「文章を書く上で大切にしてほしいのは、イメージを言葉にすること。五感を使って描写すると言葉に命が宿ります」と語る清水先生。担当する授業「クリエイティブライティングa」では、文章表現における創造性と技術について演習形式で指導しています。学生たちは、音楽を聴いて頭の中で生まれたイメージを言葉にする、具体的なモノを説明する文章を書く、触覚の小説を書くなど、独創的なトレーニングを積み重ねながら作品を創作。そして、作品を互いに批評し合うことで、次作へのモチベーションを高めています。清水先生は、「身につけてほしいのは、自分の独自のイメージを壊さず大切にできる力。自分は人とは違うということをポジティブに捉えて、創作へと昇華させてください」と語り、学生たちを後押し。表現力を磨き自信を得た学生は、見違えるほど輝き、成長しています。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

中学校

愛知淑徳中学校

社会(地理)

中島典昭 教諭

地図を読み解くワークを通して、
自ら考えて取り組み、発表する力を養います。

愛知淑徳中学では、1年で地理、2年で歴史を学ぶため、中学1年生は、1年間じっくりと地理に向き合い理解を深めていきます。具体的には、1学期と2学期で世界地理、3学期で日本地理を学習。地理ノートと呼ばれる本校オリジナルテキストと地図帳を使い、色塗りなどの作業をしながら各国の情報や位置関係を理解していきます。中島先生は、「生徒にはこのワークを通して、地図を読み解き、必要な情報を引き出す力を養ってほしいと思います」と語ります。3学期の日本地理では1年間の集大成としてグループ学習を実施。担当した地域について生徒主体で調査・発表します。「最終的には、身につけた知識を日常生活に結びつけて意識できるようにするのがいいですね」と語る中島先生。「この授業が、学びの楽しさに触れる一歩となることを願っています」。

